

令和5年度 いのちの授業 事例集（高校）【技術（職業）・家庭】

掲載数

32

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 神奈川県	高複合	技術(職業) ・家庭	子どもと共に育つ	家庭基礎の保育分野にて、4人程度のグループに分かれディベートを行った。題目は、「赤ちゃんポスト」・「出生前診断」・「男女産み分け法」の3つである。3つの題目ともに賛否に分かれたが、両方の意見も子どもの命を第一に考える意見だった。多様化する時代、子どもを取り巻く環境がますます変化しているが、どんな時代でも一番大切なのは、命であり、何よりもかけがえのない尊いものだということを、生徒一人ひとりが再認識することができた授業であった。	過去のニュースを使用
2 神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	児童虐待	児童の虐待死事件に関する新聞の記事を読み、虐待の原因や死亡に至るまでの経緯について分析し、予防策について話し合わせた。関連機関や法律について学び、虐待と疑われる状況に遭遇した時の対応や虐待が起らないようにするためにはどのような社会を作っていく必要があるかを考えさせた。	家庭科教諭 「家庭基礎」 (教科書) 「新聞記事」
3 神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	高齢者とのかかわり	高齢者に対して持っていたイメージを、グループ活動や資料を参考にして考え直す機会とした。生徒は、高齢者が生き生きと社会とかかわりを持ちながら生活する様子や心身の変化を知ること、他者をいたわり思いやりを持った行動がとれるよう意識を高めた。また、高齢者から命が受け継がれていることを再認識した。	教科書「家庭総合」 資料集「生活学Navi」
4 神奈川県	高3	技術(職業) ・家庭	生命の誕生	妊娠から子どもの誕生までの母体の管理、胎児の発育と母体の変化について理解を深め基本的な知識を身に付けた。	教科書・資料集
5 神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	防災・減災を考える	防災・減災を考えるをテーマに、大規模災害が発生した際に知っておくべき事柄、準備の必要な物品について学習した。具体的には、南海トラフ地震が間近に迫っていること、津波から避難する際の標識の意味を確認した。また、災害の発生を想定して、自宅と高校付近にいる際の避難所の把握と非常時持ち出し品リストから不足しているもの考えるなど、より実践的な学びとなるように配慮した。	(参考資料) 実教出版「家庭基礎」
6 神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	子どもとかかわる	とある夫婦の妊娠・出産に密着したドキュメンタリーを視聴した。子どもがどのように生まれてくるのか、親や助産師含め、周りの大人たちがどのように妊娠・出産に関わるのかを映像の視聴を通して学んだ。特に、父親が妊娠・出産時に無力感を感じる事が印象的であったと感じる生徒が多数いた。また、親への感謝や母親を労わる感想も多くみられた。映像視聴後には、子どもの発達について学習する際にも、他人事ではなく、自分事として積極的に学ぶ姿勢も見ることができた。	(視聴映像) 「うまれる」企画・監督・撮影 豪田トモ

7	神奈川県	高複合	技術(職業) ・家庭	保育基礎	「保育基礎」は子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識と技術を身につけ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てることを目指している。学習内容は、子どもの発達の特徴、発達過程、福祉と子育て支援、生活から保育に至るまで多岐にわたる。実際に近隣の幼稚園で実習に行っており、生徒は生き生きと活動している。	実施月は通年で行っている。
8	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	防災・減災	①東日本大震災、阪神淡路大震災、各地での土砂災害時の被害状況の動画を視聴 ②被災者アンケートから、課題を話し合う ③2次災害や災害を最小限に食い止めるためにどんな行動を心掛けるか話し合う ④被災時の食事について、ライフラインがstopした状況下において、健康を維持するためにどのような食材(備蓄)が必要で、どんな調理が考えられるか話し合う ⑤防災食を調理実習として実施、体験する	NHK教育DVD、ポリ袋調理紹介動画などを利用
9	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	生命の尊さ	家庭科の授業において、保育学習の前に「育児経験者へ妊娠・育児中に気を付けていたこと、周囲の手助けで嬉しかったこと」を生徒自身がインタビューする課題を出した。命を育む苦労や嬉しさ、周囲の助けへの感謝を聞くことで「生命の尊さや素晴らしさ」を再確認したり、「自分自身が次世代の子ども(生命)のために、何ができるか」について考える機会とした。	冬休み課題として育児経験者にインタビュー
10	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	子ども 「子どもと生きる」	乳幼児期の子どもの発達の特徴や生活習慣、子どもの権利や福祉について理解を深めた。また、子どもの育ちを支えるためにできることをグループワーク等で話し合った。生徒たちは、保育人形などに触れてみることで、新生児の命の重さを体感し、尊い命を守るために自分たちに何ができるか考えを深めていた。	教科書： Agenda家庭基礎
11	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	命の始まり	1年次家庭基礎の授業において、命の始まりの単元の学習で、人工妊娠中絶および出生前診断について学んだ。課題として自分が妊婦だったと仮定し、自分なら検査をするかどうかを提示して考えさせた。	家庭科教諭
12	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	子どもの生活と 保育	子どもの発達と発育の特徴を学習し、乳幼児期の防ぐことができる不慮の事故や罹患しやすい感染症などについて理解を深め、命の大切さを考える機会とした。	教科書 「未来へつなぐ家庭基礎」(教育図書)
13	神奈川県	高3	技術(職業) ・家庭	子どもの発達と 保育	自由選択科目である「子どもの発達と保育」は保育士を志望する生徒9名が履修しており、講師として現職の保育士に年間計4回来校していただいた。授業内容は、子どもの発育・発達に対してどのように関わるのか、安全に対してどのような点に配慮すべきかなどについて、理論だけでなく実際の対応方法を具体的に学習した。多くの子どもの命を預かる保育士の視点から、命を守ることにについての大切さや職業人としての倫理観を身につけることができた。	教科書：子どもの発達と保育 新訂版 講師：保育所で実際に勤務している保育士のべ16名
14	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	保育	命を育む上で、青年期の健康、母体の健康管理や生命の誕生、周囲のサポートの重要性など男女が協力して育児に関わっていくことの大切さを学んだ。	家庭基礎 自立・共生・創造(東書)

15	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	次世代をはぐくむ	1年生全員必修の「家庭基礎」の単元として、「次世代をはぐくむ」という単元で保育について学習した。妊娠出産の経過を通じて、いのちの大切さを学習し、また次世代を育てるために必要な、乳幼児に特有の体の発達と心の発達について理解を深めた。	教科書、資料集、プリント
16	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	人生100年のライフデザイン	高齢者の健康寿命や認知症について学び、人生には限りがあるということを感じさせた。その後「子育て」の領域につなげ、「命が引き継がれていく」という人間の営みについて考えさせた。学ぶ前と学んだ後でライフプランに変化があったかを確認させた。	
17	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	・女性の基礎体温表から考える妊娠の成立について	「家庭基礎」の授業で実施した。女性の基礎体温表から読み取る排卵日から始まり、低温期と高温期があるのはなぜなのか、ホルモンバランスの関係から、青年期における性的自立に向けた理解を深めた。	
18	神奈川県	高複合	技術(職業) ・家庭	・小児の日常生活援助の特徴を理解し、子育て支援の課題について考える。(児童福祉「こころとからだの理解」沐浴実習)	前単元で児童虐待を学習し、虐待死は0歳児が半数を占め、その内39.3%が新生児であることから、新生児の子育ての実際を理解し、子育て支援について思考を深めた。また、生徒は子どもの発達や新生児の発達過程、新生児期の感覚(視覚・聴覚・味覚・嗅覚・皮膚覚)、新生児反射についても学習済みであり、これらの知識をもってして、外部の協力を得て、実践として沐浴実習に取り組んでいた。	・講師は二俣川看護福祉高等学校看護科 教諭
19	神奈川県	高3	技術(職業) ・家庭	子どもの発達と保育	「子どもとかかわる」の単元の中で、乳幼児のからだの発達や生理的特徴、心の発達を知ることで、生命誕生のすばらしさを学ぶことができた。子どもについて学習することで、将来の親として、また地域の人間として、人と関わり生きること、そして、妊娠・出産を人生のライフイベントとしてとらえ、「自分事」としてどのように向き合っていくかを考えることができた生徒が多く見られた。	教科書：新家庭総合 パートナーシップでつくる未来(実教出版) 資料集：最新 生活ハンドブック(第一学習社)
20	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	「子どもの生活と保育」	1年生の子どもの発達と保育(家庭総合)において、DVDや赤ちゃん人形などの子どもの成長に関する題材を通して、身体的・精神的発達についてより深く理解し、そこから生きていくことの喜びや命の大切さを学習した。また、各家庭における子育ての中で、自他の生命を慈しみ生きていくことの大切さと、幼児の発達と環境との関係について考えさせ、乳幼児期は一生を通じて人間の発達の基礎をつくる最も重要な時期であることを学んだ。	・家庭総合「明日の生活を築く」(開隆堂) ・新生児人形 ・DVD「活かす～幼児や高齢者とかかわり方」(開隆堂)、「幼児の発達と生活シリーズ」(東映 教育映像部)
21	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	命への責任	望まない妊娠を避けるための避妊方法や道具について教科書や資料集を用いて講義をしたあと、神奈川の県立高校で助産師が講師となって実施された出張授業の記録ビデオの「避妊」(アーニ出版)を視聴。避妊具の正しい使い方などを理解させた。	DVD「避妊」(アーニ出版)
22	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	地域防災を考える	自衛隊、茅ヶ崎市役所の協力のもと、大規模防災訓練体験を実施。豚汁づくりやアルファ米の喫食体験、天幕設営、ロープワーク体験などを通して、防災意識の向上と、地域社会への支援について考えるきっかけを作った。	防衛省自衛隊神奈川地方協力本部、座間駐屯地部隊、茅ヶ崎市役所地域防災課

23	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	「認知症」 について知る	「高齢者の自立を支える。高齢者と共に地域をつくる」という学習内容において「認知症」について外部講師を招き、「認知症サポーター養成講座」として専門知識を基に具体的な講義を受講することにより、理解を深め、これからの超高齢社会に積極的に対応できる人材を育てた。	講師：茅ヶ崎市地域 包括支援センターわかば職員 「認知症サポーター養成講座」 受講者に認知症サポーターの証 として「オレンジリング」を配 布
24	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	健康で安全な生 活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活分野：“健康に食べる”ためにはどのように栄養を摂取するかについて学習した。</li> <li>・保育分野：子どもの健康な発育について、発達段階やかかわり方について学習した。</li> <li>・住生活：防災について学習した。</li> <li>・高齢社会分野：高齢期の心身の変化やいきがいについて学習した。</li> </ul> それぞれの分野で、プリント学習や実習、体験を行った。実際に体験する中で、「いのちにかかわること」で何が困難なのか、どんな知識が役立つのか等、気づいたり考えたりすることができた。	東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」 第一学習社「最新 生活 ハンドブック」 プリント
25	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	子どもの生活と 保育	子どもが生まれることにより生じる周りの人へ与える影響や感情を想像し、命の大切さや子供の成長過程、子育ての方法について視聴覚教材を用いて学んだ。また、昨今一人っ子が増えており、小さい子どもと接する機会がないまま親になることもあるため、子供との接し方がわからず児童虐待につながる可能性があることも内容に入れて授業を行った。生徒は子ども誕生の神秘を知り、自分の幼い時の記憶や記録を思い出しながら命の尊さを再確認した。また、児童虐待の実態を知ることによって虐待を受けている子どもが最悪の事態にならないように「自分ができること」を考え、話し合う様子が見られた。	講師は家庭科教員
26	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	住生活について	住生活の分野の授業で住まいの役割をはじめ、人生を通しての住まい方や手入れ、住宅で起こる事故などを取り上げた。毎年のように起きるベランダでの転落や風呂などでの水難、乳幼児のうつぶせ寝による窒息など、安全・安心であるはずの家庭での不慮の事故について考える機会を持ち、成人を目の前にした生徒への認識を深めることができた。また、近い将来、自立して新しい家庭を築いていくために必要な知識を学ぶことができた。	講師は教科担当者。教科書の内容を中心にして、ニュースなどで取り上げられる家庭で起きる事故等の情報も加えて実施した。
27	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	「いのちのはじまり～子どもの身体の発達と発育、心の発達～」	子どもの身体の発育と発達について、新生児の特徴や運動機能の発達の具体例を柱に学んだ。自らの発達の過程とも関連付けて考えさせた。子どもの心の発達には、認知・情緒・言語の発達の段階があり、自我の芽生えとともに親に反抗することも多くなることを学んだ。また、子どもの社会性の発達には遊びが大切であることも学んだ。これらの知識に基づいて、自分たちが親になったとき、子どもにどのように接するか、話し合いを行った。	

28	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	災害時の食の工夫	能登半島地震を踏まえて、災害時に配給される食料について学習した。配給食は必要な栄養素が不足しがちであることから、比較的保存のきくツナ缶やマカロニ、トマトジュースなどを用いたポリ袋の調理を行った。簡単に作れて、栄養も摂取でき、洗い物も少なく、早く片付けられるため、日常生活でも作ってみたいという感想もあれば、他のポリ袋調理も実践したいという声もあがった。食の授業ということで、どうすればもっと美味しくなるか考えさせたところ、コーン缶の追加、胡椒の量の調節などさまざまな意見が出て、アイデアを共有することができ、深い学びにつながった。	ツナトマトスープパスタのレシピ
29	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	生命の誕生	子どもの生活と保育の分野で、「生命の誕生」について、DVDの動画を活用した授業を行った。妊娠から出産、新生児の特徴などの確認をした。生命の誕生は奇跡的なことであり、子どもを産み育てていくことの意義を感じてくれた生徒が多く見られた。	家庭科の教諭
30	神奈川県	高1	技術(職業) ・家庭	子供との関わりと保育・福祉	乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深めるために、子どものいのちを守る大切さと関連付けて学習する。その学びを通して、子供の発達に応じて適切に関わるための知識・技能を身に付けさせるとともに、いのちの大切さを考えさせる。	大修館出版「Creative Living『家庭総合』で生活をつくろう」を教科書として使用
31	神奈川県	高4	技術(職業) ・家庭	住まいと子どもの危険	子どもの事故と安全について、家庭内のイラストから子どもにとって危険なところはどこか見つけ出し、事故やけがにつながるためにはどうすればよいのか考えた。実際の家庭内事故の事例を伝え、子どもがいる世帯だけでなく、普段の生活の中でも危険から身を守るために自分たちにできることについて話し合った。	子どもの発達と保育担当教諭 教科書 「子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う」 (教育図書)
32	神奈川県	高2	技術(職業) ・家庭	グリーンインフラによる災害対策事例	グリーンインフラによる災害対策事例として、アメリカ合衆国のポートランド市やニューヨーク市の事例の紹介と共に、2019年の台風19号の被害の際に、新横浜公園（水没する公園）の効果により、周辺・下流域を洪水から防いだ事例を紹介し、緑地を活用することで、自然に配慮し、我々の生活、命を守ることができることを学んだ。	講師 物林株式会社 環境・景観事業部 景観室より2名